



神埼市立春振中学校 学校だより

樹人舎 第4号

令和5年5月19日 校長 牟田美弥子

【学校教育目標】

春振を愛し、進んで学ぶ、たくましい子どもの育成

【令和5年度の生活目標】

- ①自分たちで学校のよい雰囲気をつくる
- ②周りに信頼されるにはどうあるべきか考えて行動する



ここが大事なな。よく聞いておこう



☆ 効果的な学習法を多く知っている人ほど、学習意欲が高まり成績も向上！

中間テストを1か月後に控え、本校の生徒たちは学習に一段と力が入ってきています。

4月に発表された調査結果（東大とベネッセが全国2万1千組の親子に毎年行っているもの）では、①「上手な勉強のしかたがわからない」という小中高生がこの4年間で増加し約7割になった、②効果的な学習法を多く知っている子供ほど学習意欲が高まり成績も向上している、ということでした。

そこで、学習の力の入れどころのヒントになればと考え、5月の全校集会では、普段の授業中の様子を示しながら、効果的な学習について一緒に考えました。また、記憶したことを忘れないためには、①24時間以内、②1週間以内、③1か月以内の、3回の復習が必要なことがわかるグラフを見ました。学校の学習にあてはめると、①毎日の自学と課題、②「春振タイム」と小テスト、③テスト前のテスト勉強に、こつこつと取り組むことが有効であると感じました。

①学習の定着には、「**インプットとアウトプットの学習を組み合わせること**」が効果的。

○インプット

聞く、読む、視聴する、実演を見る など

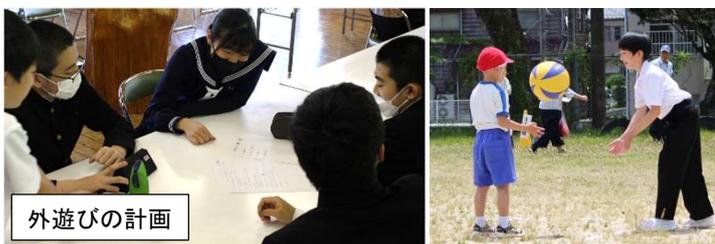
○アウトプット

話し合う、自分でやってみる、練習する、人に教える、誰かに説明する など

②その日学習したことを振り返る「**自学**」が効果的。

○人は、一度記憶したことを、何もしていないと、24時間後には74%も忘れてしまう。

嬉しいことに、教科書の学習だけでなく、興味をもって各種の資格試験や検定試験に取り組もうと頑張っている生徒もいます。そんな時も、読んだり見たりして理解することと、理解したか確かめるために練習問題に取り組むことを組み合わせることで、より効果的に力をつけていけると思います。



☆ 春振小の児童と本気で遊ぶ。小中交流

春振小学校との交流が始まりました。今年は小中学生合わせてちょうど70名の子供たちです。

中学生は、小学生の体格や体力に合わせて力加減をしながら、「本気の表情」でボールを投げたり、鬼になって追いかけていたりしていました。終わりの時間が来ると、縦割り班ごとに集まって、「遊んでくれてありがとう」と声を掛け合いました。中学生が、2年ぶりに入学した小学1年生を歓迎する場にもなりました。



☆ 学習アプリを活用しよう。春振タイム

全校生徒がランチルームに集まり、タブレットを使って学習しました。今年は、小学1年から中学3年の内容まで自分のペースで何度でも学習でき、学習記録もできるAI機能付きのアプリケーションを導入しています。

「若い時、もっと勉強しておけばよかった～」の「若い時」とは、ほぼ中高6年間。